

2 重点努力目標と具体的実践事項【令和7年度版】

柱	重点努力目標	具体的実践事項	前期	後期
心づくり	1 人権教育の充実	○児童・教職員の適正な言語環境の推進		
	2 道徳的实践力の向上	○「特別の教科 道徳」授業の充実		
	3 生徒指導の充実	○安全・安心な学級・学校集団づくりの推進		
		○家庭・関係機関と連携した基本的生活習慣の育成		
学びづくり	1 学習規律の徹底	○話す・聞くなどの基本的学習訓練の徹底		
		○学習環境(ひと・もの、こと)の整備		
	2 熊本の学びの推進	○学びを深める授業改善の推進		
		○ICT活用指導能力の向上と校内研究の日常化		
	3 自主的学習の充実	○家庭学習(学年×10分+10分/日)の充実(授業との連携)		
		○読書活動(低10冊,中5冊,高1冊/月)の推進		
健康づくり	1 健康・安全教育の推進	○健康・安全教育の充実と危険予測能力の育成		
		○家庭と連携したメディアコントロール力の育成		
	2 体力の向上	○体育科授業、体育的行事等の充実		
	3 食に関する指導の充実	○給食指導等による望ましい食習慣の形成		
教育環境(ひと・もの・こと)の整備と充実	1 地域とともにある学校	○家庭・地域・関係機関・中学校区の学校と連携した教育活動の推進(150周年記念に向けた連携)		
	2 特別支援教育の充実	○一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な指導と必要な支援の充実		
	3 教室等環境の整備	○校舎内外の安全管理の徹底		
		○教室設営や校内掲示の充実		
	4 教職員の資質向上	○「くまとの教職員像」の具体化		
		○不祥事の根絶		
		○働き方改革の推進		